

ジェンマブ株式会社・NPO 法人キャンサーネットジャパン共催

「どう向き合う？ 子宮頸がん ～治療と暮らしのリアル：私たちのストーリー～」

2025 年 9 月 16 日(火) 19:00～20:15 開催

2025 年 9 月 30 日

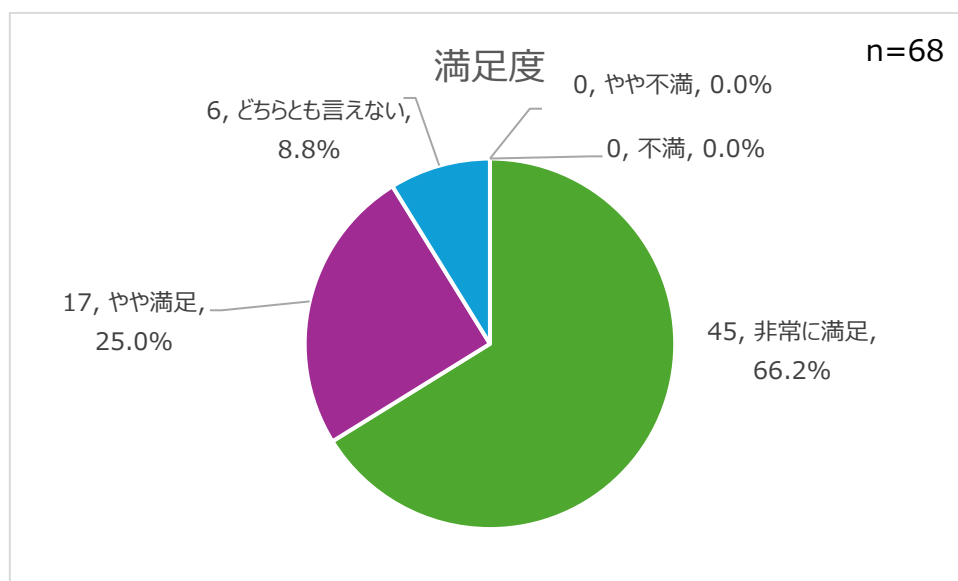
2025 年 9 月 16 日（火） に開催いたしました表題セミナーのアンケート結果をご報告申し上げます。当日はオンラインで 266 名の皆様にご参加いただき、68 名の方から回答を頂きました。

頂きましたコメントは、重複する内容をまとめたり、一部抜粋したりして紹介しています。

たくさんのご意見を頂きましたことに感謝申し上げます。

(1) 今回のセミナーに参加した満足度を 5 段階でお聞かせください。[満足度]

	割合	人
非常に満足	66.2%	45
やや満足	25.0%	17
どちらとも言えない	8.8%	6
やや不満	0.0%	0
不満	0.0%	0
		68



(1)-2 前の質問の満足度の理由をお聞かせください

(非常に満足)

- ・ 実際に体験された方の生の声をお聞きすることが出来て参考になりました。
- ・ 実際に経験された方の生の声を聴くことができてとても学びが深まりました。
- ・ サバイバーの方のお話が聞けた
- ・ 医療的な情報とサバイバーの情報が聞けて、良かったです
- ・ 治療や患者の立場から様々な視点で学ぶことができた
- ・ 当事者の方のお話が、すぐリアリティがあって参考になったから。
- ・ 経験者の生の声が聴けたこと
- ・ 短時間ではあったが盛り沢山な内容
- ・ リアルな話を聴けたから。
- ・ 演者のバランスがとてもすばらしい。さらに演者のみなさまのお話しもとてもやさしくまとまっていて安心して視聴できた
- ・ 同じ子宮けい癌で戦っている方のお話が聞けたこと
- ・ 乳がんサバイバーですが、子宮頸がんについての知識を深めたく拝聴しましたがとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 体験者の方の実体験が参考になった。貴重な話が聴けて良かった。
- ・ 現場の医師からの話、経験者のリアルな話が聞ける貴重な機会だったと思います。私はがん相談員としてまだまだ未熟ではありますが、今日のお話を活かしていきたいです。
- ・ 医療者と経験者の両方の話を聞くことができ、理解を深めることができたから。
- ・ 子宮頸がんについての知識が正しく理解できた。
- ・ 子宮頸がんのことについて理解が増えたからです
- ・ サバイバーの方のお話と実際の治療の最新の医学的情報も知ることができた、自分の知識のアップデートにもなった
- ・ 旧知の森田さんの貴重な体験談を聞くことができました
- ・ 医者の話しとがん経験者、サバイバーの率直な話が聞けて良かった
- ・ 医療者と患者の方々の双方の意見が聞けました
- ・ 罹患者の体験談を聞けたから。
- ・ がん経験者の方々のご意見、また医者からのサマリーが聞けたこと
- ・ 子宮頸がん専門医の講演や子宮頸がん罹患者 2 名の経験談、そして司会進行のバランスが取れていて、聞きやすくわかりやすい内容でした。参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・ 実体験下の話には説得力があるため
- ・ 子宮頸がんについての正しい知識を学ぶことができて良かったです。また実際に子宮頸がんを経験された方のお話しも聞けて勉強になりました。
- ・ 治療の実際や、サバイバーの生のお話を聴けた

- ・ 最近の治療情報が得られた。当事者の生き方を学べた。
 - ・ ほとんど知識がなく参加したので、知らないことをたくさん知ることができた
 - ・ 子宮頸がんについての基本的な知識から治療法、患者の体験、心情まで多岐にわたる話を聞くことができ、有意義でした。
 - ・ リアルな体験を自宅で視聴できたため。
 - ・ 医師と患者の双方の立場から話を伺うことができたから
 - ・ リアルを学ぶことができ大変勉強になりました。
- 先生の講義は病気と治療について幅広いうえに、分かりやすく、大変学びになりました。経験者のおふたりの話は、日々相談や外来でお会いする患者さんの、日頃聞くことができない生活や人生の話を聞かせて頂き、いろいろ考える時間となりました。
- ・ 今治療中なので、とても参考になりました。
 - ・ 医療者パートは端的で分かりやすく、経験者の方のお話は真っ直ぐに心に響くものがあった

(やや満足)

- ・ わかりやすく、当事者の話が聞けたのが良かった。
- ・ 時間帯が子どものご飯や寝かしつけと重複してしまい、全ての講義を受けることができなかった。
- ・ 森田さんの声が時々聞き取りづかった
- ・ 医師、ガンサバイバー、それぞれの立ち位置からの話が聞けたから
- ・ がん研有明の先生、原千晶さん、子宮頸がん罹患者さん、それぞれの立場でのお話が伺えて良かったです。質問コーナーでもっと沢山の項目を紹介して頂けたら更に参考になったと思います。
- ・ 患者が知りたいこと、不安に思うことをどのようにして医療者に伝えたらよいか。どのように支援が得られるのかを具体的に知りたかった。
- ・ 基礎知識には満足。サバイバーの強い言葉には吸収し難い部分もあった
- ・ どなたのお話もすぐまとまっていた。が、もう少し踏み込んだお話も聴きたかった。でも、限られた時間なので致し方ないことだとは思っています。なので、第二弾の開催も心待ちにしています。また、個人的なことですが、わたしの投稿したトラケクトミーについての質問を取り上げていただき、ありがとうございました。質問の文面不足だった点を反省しました。医師の方へは限定的、ステージや腫瘍の位置などだけでなく、年齢も限定すべきと今後もお考えでらっしゃるのか知りたかったです。そして、患者の方には原さんのように若い年齢やまだ妊娠を諦めたくない所謂、妊娠すれば高齢出産にあたる年齢の方でも、まだ子を授かっていない、これからできることであれば授かりたいと考えたとすれば、それこそ藁にもすがる思いでセカンドオピニオンを検討なさったりされたのかをお訊きしたかったです。
- ・ それなりに理解出来ました。
- ・ 3人の演者のお話はとてもよかったが、参加者からの質問内容が、いつもどこでも聞かれるような内容だった。

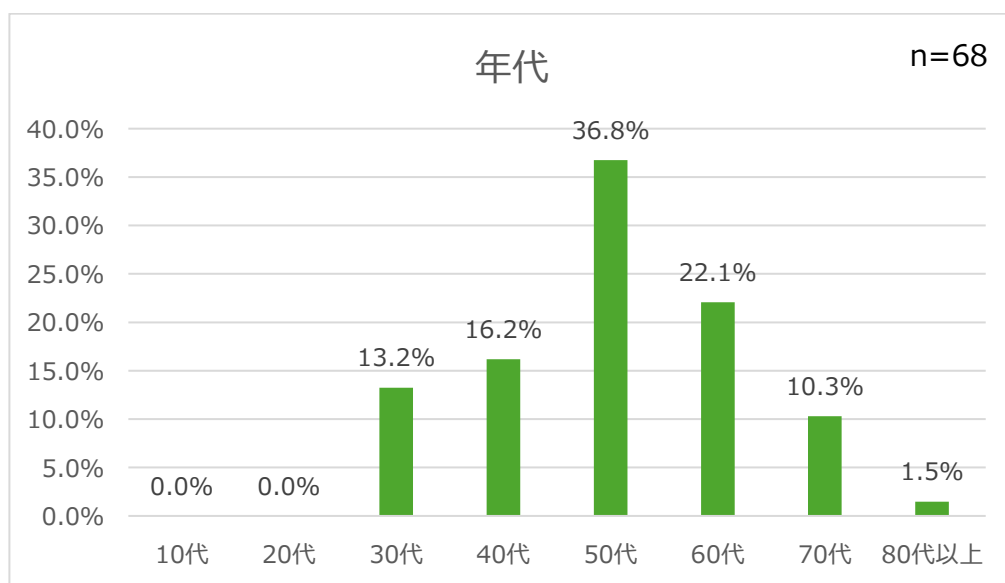
- ・ 中継の音声聞きにくかった

(どちらとも言えない)

- ・ 個人の意見が強すぎると感じました。後悔をするよという呼びかけが正しいのかなあと。それが早期の治療につながるとそういう目的なのは分かるのですが、少し怖くて、他の啓発方法の検討はされたのかなと、感じてしまいました。
- ・ 申し訳ありません、急遽別のオンライン会議が同時時間に入りましたので肝心な内容を拝聴することが出来ませんでした。
- ・ 森田さんの声が途切れて聞こえづかった

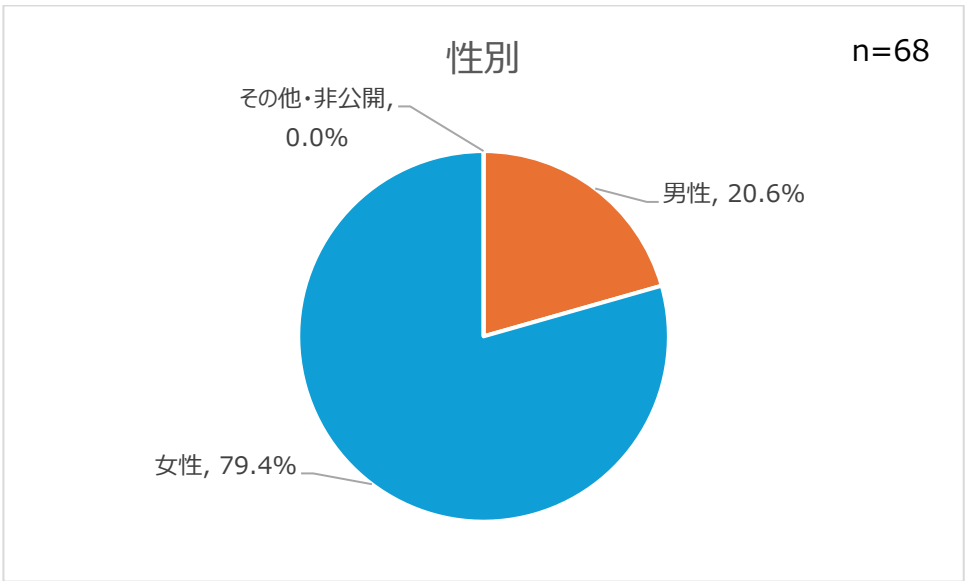
(2) あなたの年代を教えてください [年代]

	割合	人
10代	0.0%	0
20代	0.0%	0
30代	13.2%	9
40代	16.2%	11
50代	36.8%	25
60代	22.1%	15
70代	10.3%	7
80代以上	1.5%	1
		68



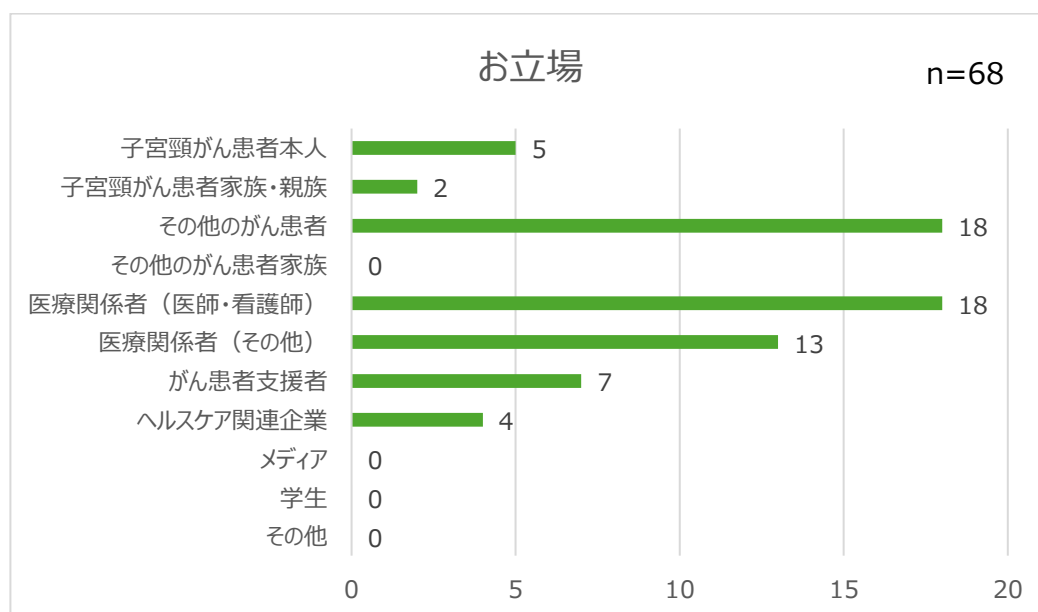
(3) あなたの性別を教えてください。

	割合	人
男性	20.6%	14
女性	79.4%	54
その他・非公開	0.0%	0
		68



(4) あなたのお立場を教えてください。(複数回答可)

	人
子宮頸がん患者本人	5
子宮頸がん患者家族・親族	2
その他のがん患者	18
その他のがん患者家族	0
医療関係者（医師・看護師）	18
医療関係者（その他）	13
がん患者支援者	7
ヘルスケア関連企業	4
メディア	0
学生	0
その他	0



※その他

- ・ 講演者と同じ職場で仕事をした友人
- ・ 子宮頸がん経験者（いまは患者ではない）
- ・ 子宮がん健診で再検になり、毎年 1 回健診を受けています。
- ・ 娘の子宮頸がんワクチン接種をどうするか悩んでいる母親
- ・ 自治体
- ・ 養護教諭
- ・ 前癌病変で円錐切除をした患者であり、その経験から子宮頸がんの啓蒙活動を行っています。

(5) 本日のセミナーで、印象に残ったこと、参考になったことなど、ご感想やご意見があればぜひお聞かせください。

- ・ 心の安定を保つこと、小さな目標をたてること、検診の重要性などが印象に残っています。
- ・ 患者の心の動きに興味があります。お二人のご経験、心の動きを伺えたことが良かったです。人は死を意識した時にどうなるのか、分岐点のようなものがあると思います。怖い、から強く見せる。お二人は強い方だなと感じました！
- ・ 原さんや森田さんの実体験のお話
- ・ 受援、いい言葉ですね。
- ・ がん患者の家族(子供)の関わり方
- ・ そのほかのがんと比較したとき、検診率は飛び抜けて低いわけではないグラフだったので、どうしてもっと検診率が上がった方がいいのか、予防できるがんだから、などの情報があると良かった
- ・ 子宮頸がんの治療の今、を知れたことが印象に残りました。
- ・ 正しい情報に触れること。我慢しない。
- ・ 原さんの、心からの訴えが胸に残りました。
- ・ がんになっても、力強く生きておられる方のことばを聴けてとても良かったです。
- ・ 私は検診を毎年受けていて、そろそろもう受けなくていいかなと思っていたが、検診の大切さを改めて強く感じた
- ・ 子宮頸がんは、ワクチンがあるのに罹患者数が横ばい。子供に関係のある年齢、35-45 歳がピーク
- ・ 受援力
- ・ 子宮頸がんの細かい説明を医師から、サバイバーのご経験をご本人から、ととても勉強になりました。ワクチンで予防可能なガンなので若い方にきちんと考えてほしいと思いました。
- ・ 体験者の心の持ち方、考え方が参考になった。
- ・ 色々な立場の相談者をつくるのはとても良いなと思いました。がんでなくても、日々話をしたり相談をする内容が立場や関係性によって人間は使い分けると思います。がんになってもそれは同じ。話せることを話せる人に伝えて解決できればいいなと感じました。
- ・ ワクチン接種と子宮頸がん検診による早期発見の重要性がより理解できた。周りを上手に頼ること。がん経験をプラスに変えることという言葉がとても心に残った。
- ・ 早期発見、早期治療に尽きると思った。
- ・ 原さんが子宮温存は間違っていたときっぱり言い切ったことが印象的でした。サバイバーがそのように言うことで患者さんもより適切な治療を受けることにつながるのではないかと思います。実際は、きちんと理解したうえで患者さんが子宮温存を強く望む場合は医療者は無理やり手術をすることはできず、本当に良かったのかと悩むこともあると思いますが、そうであっても患者の意向を尊重することも多いです。患者さんが納得して治療を受けることは大切なのでその時点で子宮温存したことは、その時点では患者の納得いく選択だったんだと思います

- ・ がん患者をサポートする様々な活動があることを知りました
- ・ 検診の大切さ。また、その時々で周囲の人を頼ることで気持ちが救われたこと
- ・ ガン患者でいらっしゃるのに生き生きとされていたこと
- ・ がんは早期発見・早期治療が大事でがんの経験をプラスに変えるということ、私も罹患してからせつに思ったことでした。今一度自分を見つめなおすきっかけになりそうです。
- ・ 患者本人の、家族からの気持ちの励まされ方のお話から。かたや、独身で治療を頑張っている人への気もちの頼り所も今後身近に沢山出来ると嬉しいなあ。という課題も見えた。
- ・ 二次治療の化学療法や新薬の登場など初めて知る事があり勉強になりました。
- ・ がんのことを相談する先が複数あること。知りませんでした。
- ・ 悩まずに周囲に相談
- ・ 基礎知識がわかりやすかった。ありがとうございました。
- ・ 辛い副作用やこれまでにないことが起こったら、我慢しないで医療者に早く伝える。
- ・ 今回の患者さん側のお話としては、支えてくれる家族、友人のいらっしゃるお立場の方々でした。が、きっと中には事情があって、おひとりの方もいらっしゃると思いますので、そういったお立場の方のお話もお聴きできたらな、と感じました。また、繰り返しになりますが、時間延長していただいたものの、やっぱり駆け足感が否めず、もっと患者さんの突っ込んだ気持ちの部分や、もちろん個人情報とは伏せた上での医師目線でこんな患者さんがいらっしゃる、のようなお話も聴いてみたかったです。
- ・ 気持ちの動きを振り返って紹介されたお話
- ・ 病気について前向きに考えておられる所は、なかなかそういう事が難しい方が多い中、とっても大事だなと思い聞いてました。やっぱり家族の支えなんですね。
- ・ 家族として何をしてあげられるのかどう接していいのか、迷いながらの毎日ですが、色々な情報を知ることができて少し前に進めた気がしました。「泣いても良い」という言葉を聞いてすごく心が楽になりました。先生からのお話しにもあった治療してそこで終わりではなく、治療と並行して生活があることを家族ががんになって初めて実感しています。その中でどのようなモチベーションで生活をされているのか、どのように毎日を過ごすか良いのかなども実際にがんを経験されているお二方から聞くことができてすごく良い時間になりました。貴重な機会をくださりありがとうございました。
- ・ 小生なりに勉強させて頂きました。
- ・ 化学療法の今と、副作用や支援について知れたので、仕事に生かしていきたいです。
- ・ 原さんが体験されたことは、患者としては失敗だったかもしれないが、それを患者会主宰という形で後続く患者さんに還元されている姿に感動しました。また、再再発してもご自身と向き合い、ご自身の人生を意義多く謳歌されている森田さんのお話に感動しました。
- ・ 当事者の方の生き方が関係者の皆様とつながりその時々が発せられた言葉に生きる為のお力を得ていた事。また、医療者も当事者の方々の声を聞こうとしている事が質問コーナーでわかった。

- ・ がん検診を受けること、ワクチンを接種すること、早期に見つけることと予防について、娘と話して、できることを考えたいです。異なる立場からいろいろお話を聞いたことで、バランスよい充実したセミナーでした。
- ・ がんのステージと治療法をしっかりと認識すること、副作用については医師とコミュニケーションをとって前向きに治療に取り組むことを大事にしたいと思いました。
- ・ 検査の大切さが伝わってきた
- ・ お話を聞いていて、受援力は大変重要だと感じました。ただ、もともと受援力が高い人は多くはないと思うので、周りの理解進むことで、ほかの人を頼り・頼られるという支えあいの世界が実現できたらいいなと感じました。
- ・ がんとともにつらい治療に耐えながら、周りに感謝したり、人生や生活を捉え直して前向きに過ごされている姿に尊敬いたしました。病気などつらいことに向き合ってきた方は年齢問わず、人としての成長されていることを、そばでみていて感じています。そういう大切な時間を支援できればと思いました。貴重なお話を聞かせて頂きありがとうございました。感謝いたします。
- ・ 再発を繰り返していても、前向きに過ごしていらしての方の経験談を聞かせていただいた事にとっても勇気づけられました。
- ・ 患者さんの気分の波が悲嘆ばかりでもないこと
- ・ ご自身の経験の中でのこれは失敗だった、間違った考え方だったと思われたことも愚直にお話くださり、大変心に響くものがあつた。

(8) 今後、子宮頸がん患者さんにご家族向けのセミナーやイベントで、聞いてみたい、取り上げてほしいテーマがありましたらお聞かせください。

- ・ 治療と妊孕性温存で悩まれている方も多いと思いますので、体験された方のお話を伺ってみたいです。
- ・ 重いものではなくて、ポップにストレス発散法のコーナーみたいなのがあれば聞いてみたいです。
- ・ 入院が長引いたり、治療が思うように進まなかったりあると思いますが、何して少しスッキリみたいな、ポップなやつはいかがでしょうか。
- ・ ワクチン対象者の10代の子たちの気持ち、考え方など聞きたいです
- ・ 性交渉はしたことがないけれど、キスなどはしたことがある、というような思春期の子どもたち向けに、予防ワクチンの存在や感染経路について教えるセミナー
- ・ 治療と性生活
- ・ 世界のワクチン接種率と罹患者数の比較、日本の課題、妊孕性温存療法についてなど。
大変貴重なセミナーをありがとうございました。またこのメンバーでお話を伺いたいです。
- ・ 主治医とのコミュニケーション
- ・ 若い患者さんのお声などがあると、よりワクチン接種対象者への啓蒙ができるかな、と思いました。

- ・ 最後の質問でもありましたが、医療従事者から言われた嬉しかったこと、逆にこうやって声をかけて欲しかったことを教えて欲しいです。
- ・ 遺伝性について
- ・ 子宮頸がんの検査を助産師がやったり、PCR でやったりと、健診の工夫もあると思います。（海外では看護師、助産師が実施をしたり、診察台ではなく膣の入り口で PCR 検査ができると聞いています）内診（子宮頸がん検査）も一つの検査率が低い原因だと思っています。そのあたりの工夫が知りたいです。
- ・ リンパ浮腫について
- ・ 家族を看取った後の、独身者向け(仕事と治療の両立)への心のもちよう等。(深い相談ができない)
- ・ ●インターネットや書籍などにがん情報がいろいろあります。どのようにして情報を得て、選んだらよいのでしょうか。●医者以外に相談できる機関にはどんなものがありますか。●治療を受けるときに、医者が話すことをそのまま受け取るのではなく、納得できる説明を受けるには、どのように症状を伝え、どのような質問をしたらよいのでしょうか。●子宮がん検診方法、治療方法にはどのようなものがあり、どのような観点で選んだらよいのでしょうか。
- ・ 色々な背景の患者さんの治療に関するご経験
- ・ 今夜の内容をお願いしたい。
- ・ また個人的なことですが、わたしは子宮頸部異形成の中等度状態で早期円錐切除術をかかりつけ医（町医者）に求めましたが、まだその段階ではない、円錐切除するとそれなりにデメリットもあるからね、とやんわり断られました。その結果、高度異形成となり、総合病院を紹介してもらい、円錐切除後に子宮頸がんと診断され、どうしても子宮全摘を避けたく、あがいて大学病院に転院し、再度円錐切除してもらえましたが、やはり全摘の診断でした。それでも諦めきれずセカンドオピニオンで別の大学病院でトラケクトミーを相談しましたが、最初の大学病院と同じ判断で年齢的に無理とのことでした。それで全摘し、その後 3 クールのみですが、パクリタキセルとシスプラチンの抗がん剤治療済みです。おかげさまで副作用も消え、治療後 4 か月ほど経過した現在、元気ですが、たられればがつきまといます。同じような経験、似たような思いをなさった方のお話を是非お聴きしてみたいです。
- ・ 薬や治療以外での体験談はためになりました
- ・ 遠隔転移がある子宮頸がんに対する局所治療について、組織型別の治療について、後実用化されそうな治療について(臨床試験、先進医療など)
- ・ AYA 世代のがんの支援
- ・ 前がん状態の異形成（中等度、高度）と言われて不安を抱えている人が結構いるようなのでフォローの検査方法、間隔についてや、心の持ちようなどについて聞かせてほしいです。
- ・ 治療中の体力作りや食生活に関して興味があります。
- ・ 受診時の看護師との関わりで嬉しかったこと、辛かったこと。もっとこうしてほしかったこと